

「第3次江南市子ども読書活動推進計画(案)」に関するパブリックコメントの結果について

- 意見の募集期間： 令和2年1月9日(木)～2月7日(金)
- 意見を提出された方： 2名(うち1名は団体)
- 意見の件数： 10件
- パブリックコメントに対する市の考え方について

| No. | 項目 | 意見の概要 | 市の考え方 |
|-----|--|--|--|
| 1 | <p>第3章 子ども読書活動の成果と課題及び施策の方向性</p> <p>基本目標1 家庭・地域における子どもの読書活動の推進</p> | <p>P6.「家読(うちどく)」は良いシステムだと思うが、家事や仕事で忙しい親が広報で啓発があっただけではやるとは思えないので、実際に家読を実践している割合を明確にしてほしい。</p> | <p>「家読」は読書を介して家族間のコミュニケーションを図る読書活動を指し、広義では家庭での読み聞かせも「家読」となります。啓発にあたり、啓発方法を工夫するなど、より多くの家庭で「家読」の取り組みをしていただけるよう努めてまいります。また、今後計画を策定する際は、調査項目を新たに設けるなど検討してまいります。</p> <p>なお、「家読」の定義をわかりやすくするため、P6注1を「家読(うちどく)とは、家族で同じ本を読んで感想を話し合ったり、好きな本を紹介し合ったりするなど、読書を介して家族間のコミュニケーションを図る読書活動のこと。」に修正しました。</p> |

| No. | 項目 | 意見の概要 | 市の考え方 |
|-----|---|---|---|
| 2 | <p>第3章 子ども読書活動の成果と課題及び施策の方向性</p> <p>基本目標2 学校などにおける子どもの読書活動の推進</p> | <p>P12.市図書館がアクセスの良い場所にないため、子どもが一番本を手に取りやすいのは学校図書館だと思われる。また、子どもの本について各家庭の購買力も低下している上、市内に書店も少なくなっていることから、読書習慣における図書館の位置づけは重要だと考える。育っている家庭の経済格差が子どもの読書の格差とならないためにも、学校図書館の充実は大切だと考える。</p> | <p>現在の学校図書館は文部科学省が定めた学校図書館図書標準を充たしておりますが、引き続き、児童生徒の多様な興味・関心に応える図書や、調べ学習に役立つ学校図書館資料の選書や充実に努めてまいります。</p> |
| 3 | <p>第3章 子ども読書活動の成果と課題及び施策の方向性</p> <p>基本目標2 学校などにおける子どもの読書活動の推進</p> | <p>P12.読書指導のためには整備された図書館が必要であり、そのためには司書が常駐していることが望ましい。勤務時間が長くなれば、子ども達が入りやすい雰囲気づくりが可能になり、先生との連携も取りやすくなる。司書の安定的な雇用により、生徒との信頼関係を築くことができ、その信頼関係によって一人一人にあった本を勧めることができる。定期的な蔵書点検期間があることで図書館は整備されるので、蔵書点検ができるような勤務期間が必要である。よって、学校図書館司書の勤務時間、勤務日の増加と専任化及び安定的な雇用を求める。また、図書館司書はまだAIで代替できる存在ではなく、生徒との信頼関係も必要なため民間委託は考えないでほしい。</p> | <p>現在、学校図書館司書9名が1日4時間、交替で学校図書館に勤務しております。学校図書館司書の増員は現在のところ予定しておりませんが、引き続き、より良い学校図書館づくりを目指してまいります。</p> <p>なお、学校図書館司書業務の民間委託につきましても、現在のところ予定しておりません。</p> |

| No. | 項目 | 意見の概要 | 市の考え方 |
|-----|--|---|---|
| 4 | <p>第3章 子ども読書活動の成果と課題及び施策の方向性</p> <p>基本目標2 学校などにおける子どもの読書活動の推進</p> | <p>P12.学校図書館は生徒が学校に いる間は自由に利用できるよ うにしてほしい。</p> <p>指導によって自由に図書館が使 える時間が限られている中学校 があるが、その指導はできるだけ やめてほしい。</p> <p>市図書館はほとんどの学校の校 区外になるが、個人利用を促進す るために学校の校則の見直しを してほしい。</p> <p>学年によって使う図書館が分か れている学校があるが、読みたい と思う本を学年で分けないこと が望ましい。</p> | <p>学校図書館は、管理上または授業での クラス利用などにより利用時間や制 限を設けることがあります。基本的 には児童生徒が自由に利用するこ とが可能です。</p> <p>また、児童生徒の安全確保の点から校 則の見直しは予定しておりません。市 図書館へは児童生徒を含め多くの方 にご来館いただきたいと考えており ますので、図書館から離れた地区にお 住まいの児童生徒の皆様には、保護者 と一緒にご来館いただくなど、安全面 への配慮をしていただくようお願い します。</p> <p>学年で本を分けないことへの配慮に つきまして、いただきましたご意見は 確認させていただきます。</p> |
| 5 | <p>第3章 子ども読書活動の成果と課題及び施策の方向性</p> <p>基本目標2 学校などにおける子どもの読書活動の推進</p> <p>基本目標3 市図書館における子どもの読書活動の推進</p> | <p>出張図書館などを行い、図書館か ら離れて暮らしている子どもも 好きな本を借りられるようにし てほしい。</p> | <p>出張図書館とは内容は異なりますが、 11、15、19 ページに記載しております 「団体貸出の利用促進」の通り、子ど もたちが本に触れ合う機会を増やすた め、また、調べ学習などの場で活用で きるようにするために、団体貸出の積 極的な利用に努めてまいります。利用 については、市図書館に団体で登録し ていただき、1回200冊、2か月間借 りることができます。</p> <p>また、19 ページ「配本サービスの利用 促進」にありますように、各小中学校 において、配本サービスを行っており ます。</p> <p>こうした制度につきましても、より多 くの方がご利用いただけるよう、周知 に努めてまいります。</p> |

| No. | 項目 | 意見の概要 | 市の考え方 |
|-----|---|---|--|
| 6 | <p>第3章 子ども読書活動の成果と課題及び施策の方向性</p> <p>基本目標3 市図書館における子どもの読書活動の推進</p> | <p>P18.「障害者」という言葉は近年、「障がい者」にするようにする動きがあるので、この計画（案）の「害」の字も平仮名に直してほしい。</p> | <p>国及び県の計画では、「障害者」の表現を使用しておりますので、本計画（案）においても「障害者」で統一をさせていただきます。</p> |
| 7 | <p>第3章 子ども読書活動の成果と課題及び施策の方向性</p> <p>基本目標4 子どもの読書活動に関する理解と関心の普及・啓発</p> | <p>P21.多くの子どもが本を読むことが大切であるということを知っているのに「子ども読書の日」を普及させる理由が書いておらず分かりにくいいため、国や県の計画から子ども読書の日を普及・啓発が必要とされている理由がかいてある文を引用してほしい。</p> | <p>「子ども読書の日」は、「子どもの読書活動の推進に関する法律」により、広く子どもの読書活動についての理解と関心を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めることを目的に定められました。また、条文には「国及び地方公共団体は、子ども読書の日を趣旨にふさわしい事業を実施するよう努めなければならない。」とされているため、国や県の計画においても施策として掲げています。本計画（案）におきましては、P21 注1で「子ども読書の日」について記載をしております。</p> <p>なお、市図書館においても、毎年「子ども読書の日」や「子ども読書週間」を含めた期間にスタンプラリーを実施しており、期間中は多くの子どもたちに来館していただいております。こうしたイベントをきっかけに図書館に来館したり本に親しんだりしていただけるよう、今後も普及・啓発を行ってまいります。</p> |

| No. | 項目 | 意見の概要 | 市の考え方 |
|-----|---------------------------|--|---|
| 8 | 参考資料 子どもの読書に関するアンケート調査 | P32.36.40.「1週間にどのくらいの時間、本を読みますか？」の問に対して、朝読の時間でしか読んでいないのではと思う。今後、どのような時間に本を読んでいるのかという項目を設けてほしい。 | 子どもの読書時間は、家だけではなく、学校での読書時間も含めるものとして調査を行っております。子どもがどのような機会に読書をしているのかを把握することも必要だと考えておりますので、いただきましたご意見は、今後の参考にさせていただきます。 |
| 9 | その他 | 「ヒューマンライブラリー」のイベントをやってほしい。 | 「江南市図書館基本計画」内で「ヒューマンライブラリー」のイベントについて、今後のサービス計画の一例として記載しております。新市立図書館においてサービスを計画していく中で、いただいたご意見を参考にさせていただき、児童生徒も参加できるサービスとして、今後検討してまいります。 |
| 10 | その他 | 「ビブリオバトル」をやってほしい。授業の一環で取り組めば、表現力を身に付けられる。 | 市図書館では令和元年 11 月に新たな企画として「ビブリオバトル」を開催しました。次年度以降も同企画の開催を予定しているほか、新市立図書館におきましても、前述の「ヒューマンライブラリー」同様、サービスとして検討してまいります。授業での取り組みは学校での判断になりますが、「ビブリオバトル」という取り組みが浸透するよう努めてまいります。 |